

※ は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。

県内で4年ぶりの大雪



一面の銀世界となった「鳴之尾牧場」



まるで雪国のような「輝北うば公園」


1月13日から14日にかけて、県内一円で記録的な大雪に見舞われました。この大雪は、九州南部の上空1,500mに、氷点下9度以下の強い寒気が流れ込んだため、平成17年12月以来約4年ぶり。

市内では、市街地などの平野部でも積雪があったほか、有武町や小野原町、輝北町などのいたる所で10cm以上の積雪が確認され、記録的な大雪となりました。



真っ白な雪化粧をした「かのやばら園」

コブハクチョウが飛来



1月17日から21日ごろまで、吾平町の肝属川と始良川の合流地点付近に、コブハクチョウ4羽が飛来しました。県立博物館によると、コブハクチョウは国内の公園の池などで放し飼いされているものが多く、どこからか飛来した可能性が高いとのこと。4羽の珍しい来訪者は、川の流れに乗りながら優雅な姿を見せ、地域住民の注目を集めていました。

今年一年の安全と防災・防火を誓う



山下市長による観閲



消防車による分列行進



輝北町つわぶき婦人防火クラブの操法披露


1月6日、串良町有里の串良平和公園陸上競技場で「平成22年鹿屋市消防出初式」が開催されました。消防団は、本業を持ちながら地域の安心安全を守るために活動する人で組織される消防機関の一つで、現在961人の団員が消火活動や防災活動に従事しています。

当日は、市内全47分団の消防団員や大隅肝属地区消防組合職員など約900人が参加。式では、多くの観客が見守る中、観閲や消防団員及び消防車による分列行進、小型ポンプや消防車による消防ポンプ操法などが行われたほか、永年にわたり消防・防災活動に尽力した消防団員や功労者など延べ209人に表彰状の伝達と感謝状の贈呈が行われました。最後には全員で万歳三唱をして、今年一年の安全と防災・防火を誓いました。



吾平方面隊による消防ポンプ操法披露

おにびた 鬼火焚きで今年1年の無病息災を願う



新春の夜空を焦がす「鬼火焚き」が、市内の各地区で行われました。鬼火焚きは、モウソウ竹などで組み上げたやぐらを、正月を飾った「しめ縄」や「門松」などと一緒に燃やす九州地方に昔から伝わる伝統行事で、今年1年の無病息災などを祈願するものです。竹の威勢よくはじける「パーン、パーン」という大きな音が邪気を払い、その炎に暖まれば1年を健康に過ごせると言われています。

市内では、それぞれの町内会や親子会などで「鬼火焚き」が行われ、新春の夜空に向けて大きく燃え上がる炎を前に、参加者全員で今年1年間の無病などを願いました。

- 鹿屋地区
川西町青年団、吉ヶ別府自治会、高隈中央地区子ども育成会、獅子目子ども会、下祓川町内会、郷之原親子会
- 吾平地区
鶴峰東地区子ども育成会、鶴峰中地区子ども育成会、鶴峰西地区子ども育成会
- 輝北地区
浦谷地区むらづくり実行委員会、下諏訪原地区むらづくり実行委員会、一番郷・二番郷・愛宕子ども会、竹下子ども会
- 串良地区
柳谷町内会、上小原地区子供育成会、岡崎上むらづくり推進委員会、岡崎下むらづくり推進委員会、城ヶ崎町内会

柳谷町内会

校区一周駅伝大会で 健脚を競う



1月17日、串良地区の串良・細山田・上小原の各校区で「校区一周駅伝大会」が開催されました。この大会は、体力の向上と地域住民の親睦を図ろうと毎年行われているもので、串良校区に5チーム、細山田校区に8チーム、上小原校区に6チームが参加。選手たちは、沿道から大きな声援が送られる中、優勝を目指して一生懸命に走り抜けていました。

気持ちを新たに けいこ始め



1月9日、市体育館で「けいこ始め式」が開催されました。これは、新年を迎え、新たな気持ちでスポーツに取り組もうと毎年行われているもの。当日は、市体育協会に加盟する29の競技団体から633人が参加し、昨年の功績のあった3団体と15の個人が表彰されました。その後、参加者は各練習場へ移動してけいこ始めを行い、さわやかな汗を流していました。

4小学校区が合同で 七草祝い



1月7日、輝北コミュニティセンターで、4小学校区合同の「校区合同七草祝い」が開催されました。これは、輝北地区の小学校へ入学する子どもたちの健やかな成長を願って毎年行われているもので、華やかな衣装を身にまとった子どもたち28人が参加。当日は、記念品贈呈や絵本の読み聞かせなどが行われ、子どもたちが元気に成長してくれることを願いました。